



# ニュースレター

発行：公益財団法人Save Earth Foundation (SEF) Vol.21 2016.4月号

美しい地球を子どもたちに残すため、  
限りある自然資源を有効利用し、  
持続可能な循環型社会づくりに貢献する。

## 資源循環事業トピックス

食品リサイクルをはじめとする廃棄物の資源化に関するトピックスや、SEFの資源循環事業の動向についての最新情報をご紹介します。

### 【3月14日 廃棄物管理「真の課題対策セミナー」を開催】

年初に発覚した食品廃棄物転売事案を受け、改めて廃棄物管理に関するあらゆるリスクを整理し、対策を講じることがますます重要となっています。そこで、廃棄物管理の専門家と弁護士を講師に迎え、廃棄物管理の真の課題と対策を考えるセミナーを、3月14日（月）午後1時半から、市ヶ谷駅前の「TKP市ヶ谷カンファレンスセンター」にて開催し、50名を超える食品関連事業者の担当者にご参加いただきました。

まずは株式会社ガイドリムの志岐秀明社長より、「廃棄物処理の本質を探る」環境省の再発防止策（案）と廃棄物管理の変化予測」と題して講演を頂きました。その中で、今後はこれまで以上に排出者責任が強化されるであろうという予測が示され、廃棄物を管理する上では委託業者の選定が重要で、今回の事案を機に、自社の処理フローや委託状況をチェックすべきであると結ばれました。

次に、株式会社ガイドリム取締役統括兼当財団理事の恩田健次氏より、「リスク対策」「見えてきた課題解決」と題した講演を頂きました。廃棄物管理に関するリスクの発見と対策検討には処理状況確認が有効であり、事例を用いて確認のポイントを解説頂いたほか、委託先の管理に有効なツールとして資源管理適正化支援システム「SEF-Net」の機能を紹介しました。

続いて、環境問題や企業法務が専門の佐藤泉弁護士にご登壇頂きました。委託先について細かな部分までの確認を怠らないことが重要と示されたほか、今後は規制や監視の強化が考えられるとしながら、一方で資源循環を推進するための規制緩和も必要で、環境省が今後どのような再発防止策を打ち出すかを注視し、排出事業者責任を意識して対応する必要があると結ばれました。

最後に事務局から、今後はセミナーのような一方通行の勉強会だけではなく、排出事業者が主体となってこれからの資源循環について考える「資源循環研究会（仮称）」の発足を予定していることをご報告しました。



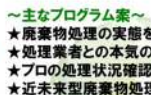
### 廃棄物に関する課題は...

### 委託の制度そのものにあり！！

当財団では排出事業者による  
「資源循環研究会」(仮)の発足に向けています。

#### 排出事業者のテーマ(課題)

- ① 高騰する処理費の削減
- ② 順法管理の徹底
- ③ 専門性から標準化(デジタル管理へ)
- ④ 各種リサイクルの推進と効果検証



- ～主なプログラム案～
- ★ 廃棄物処理の実態を解明
  - ★ 処理業者との本気のディスカッション
  - ★ プロの処理状況確認
  - ★ 近未来型廃棄物処理のあり方

継続的に勉強会を開催し、課題解決へ！！  
皆様と共に考え、解決案を提案しましょう。



本年度も、当財団では廃棄物管理におけるリスク対策の観点から踏まえて、その先の資源循環への取組みの促進に繋がるようなセミナー等を定期的で開催してまいります。

## 各地域の森林トピックス

SEFが管理・関与している各地の森林の様子、また各地におけるSEFや提携団体の活動の状況をレポートします。

### 【日向の森】(千葉県山武市)

13日の定例活動では間伐作業の後、2本の「ヒメコマツ」の苗を植樹しました。

これは、千葉県生物多様性センターが募集した「ヒメコマツ系統保存サポーター」に応募し、お預かりしたものです。

‘70年代は房総丘陵に数千本も生育していたとされていますが、今ではその数が激減しているそうです。定期的に観察しながら大切に育てていきたいと思ひます。



### 【丹波の森】(兵庫県丹波市)

3月は21日(月)に定例活動を実施しました。6名のサポーターとご家族、合わせて11名の活動では、2月に自治会の皆様と進めた間伐作業で出た材の搬出と、森林内の整理を進めました。

今回は軽トラック47本、約1.5トンの材を、丹波市木の駅プロジェクトのストックヤードへ運搬しました。

本年度は2か月に1回、定期的に活動を継続します。



## 財団からのお知らせ

## 『アースデイ東京2016』に出展します！

私たちSEFでは昨年に続き、4月23日(土)～24日(日)に開催される「アースデイ東京2016」に出展いたします。

この「アースデイ東京」は、『地球のことを考えて行動する日』として2001年に初めて開催され、今年で16年目を迎えます。昨年は12万人を超える来場者を記録した、日本最大級の地球フェスティバルです。

「資源循環事業」と「森林再生事業」の2事業を柱に、地球環境の保全と持続可能な循環型社会づくりに貢献する私たちは、昨年同様2つのコンテンツをご用意する予定です。

- ① <資源循環事業>  
家庭の生ゴミで土づくり「ダンボールコンポスト」のご紹介
- ② <森林再生事業>  
木に触れ、森を身近に感じてもらう「こども木工教室」

入場は無料ですので、ぜひご家族、ご友人とお出かけください。皆様のご来場を、お待ちしております！

### 【開催概要】

主催：アースデイ東京2016実行委員会  
実行委員長 C.W.ニコル  
会場：代々木公園（イベント広場・ケヤキ並木）  
日程：2016年4月23日（土）、24日（日）  
時間：両日とも10:00～18:00  
※出展ブースは両日とも17:00まで  
入場：無料



アースデイ東京 2016 開催決定！  
4月23日（土）、24日（日）代々木公園



公益財団法人  
Save Earth Foundation

〒144-0043 東京都大田区羽田 1-1-3 大鳥居急第一ビル7階 (ワタミグループ本社内)

お問い合わせ TEL: 03-5737-2744 e-mail: info@save-earth.or.jp

ホームページ http://save-earth.or.jp/ FAX: 03-5737-2793